

れいわ ねんど きょうまちしょうがっこう がっこうひょうか けっか
令和6年度 京町小学校 学校評価アンケート結果

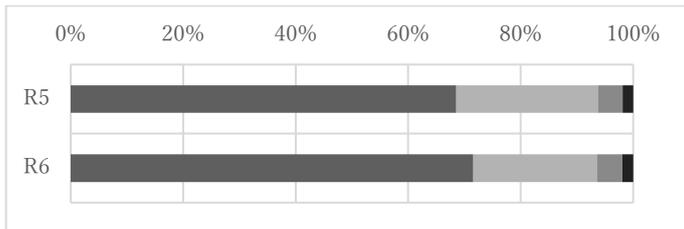
ひごろ きょうまちしょうがっこう きょういくかつどう りかい きょうりょく かんしゃもう ほごしゃ
 日頃から、京町小学校の教育活動にご理解・ご協力をいただき感謝申し上げます。また、保護者アンケートへの
 きょうりょく
 ご協力ありがとうございました。いただいたご意見は、これからの教育活動・学校行事など様々な場面で活用させてい
 いただきます。全ての児童が幸せに「楽しい」と感じる学校を目指してまいります。

じどう ほごしゃ けっか つぎ とお がっこうあんない どう よ さいわ
 児童と保護者アンケートの結果は、次の通りです。「学校案内」等をあわせてお読みいただければ幸いです。

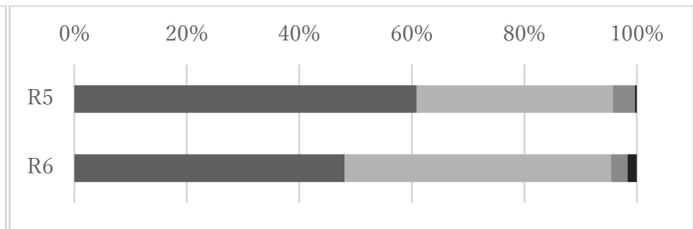


I 豊かな心でふれあう学校

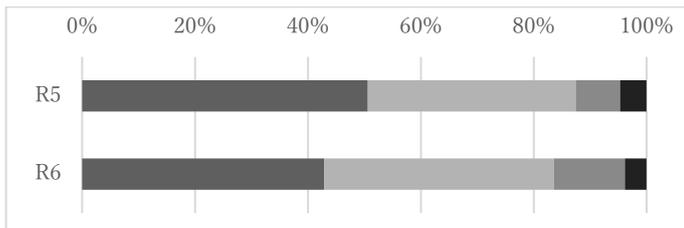
がっこうせいかつ たの
児童① 学校生活は楽しい



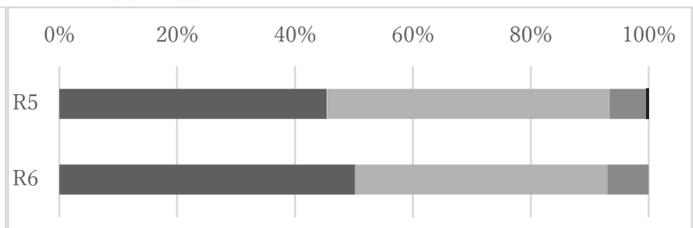
がっこう たの がっこう かよ
**保護者① 学校は、だれもが楽しく学校に通うことができるように
 指導・支援している**



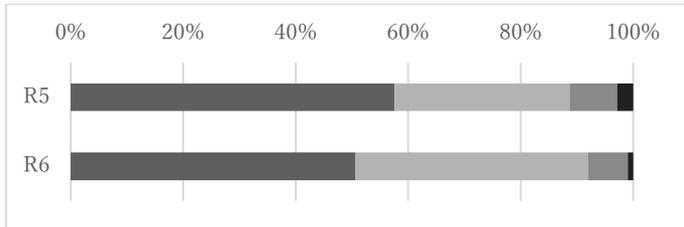
じぶん
児童② 自分からあいさつをしている



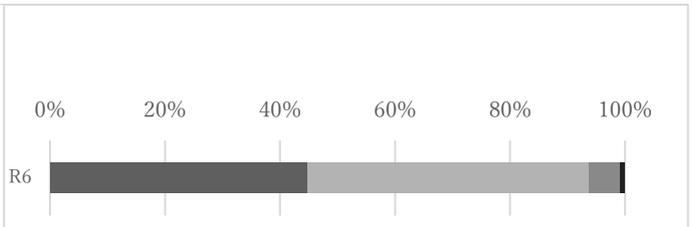
がっこう ひとりひとり きも よ
**保護者② 学校は、一人一人が気持ちの良いあいさつができるように
 指導・支援している**



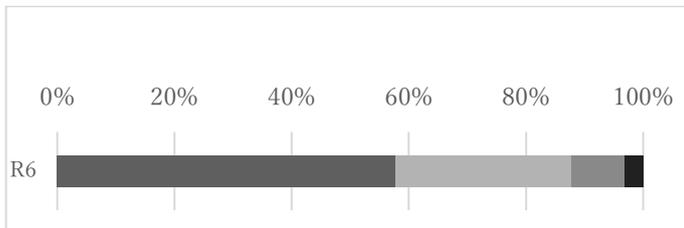
がっこうせいかつ たの まも せいかつ
児童③ 学校生活を楽しくするために、ルールを守って生活している



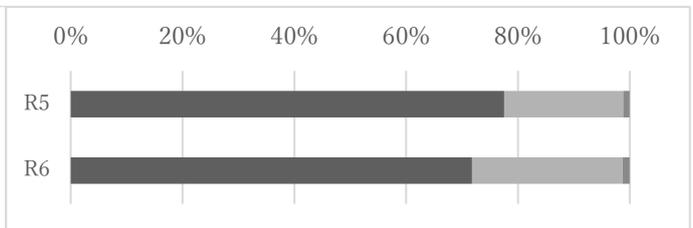
がっこう きほんてき ていちゃく しどう しえん
保護者③ 学校は、基本的なルールが定着するように指導・支援している



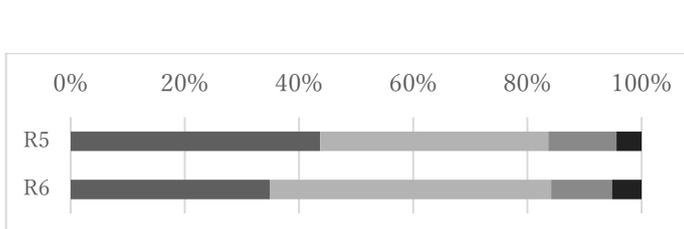
はんかつどう ちいき かた かつどう
児童④ たてわり班活動や地域の方と一しょに活動することが楽しい



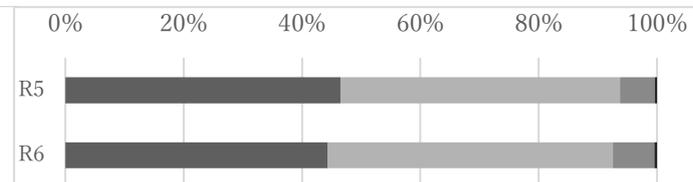
がっこう どう ぎょうじ はんかつどう とお
**保護者④ 学校は、ふれあいまつり等の行事や、たてわり班活動を通して、
 さまざまな学年の児童との関わり合い大切にした教育活動を行っている**



じぶん き ともだち み
児童⑤ 自分のよさに気づき、友達のよさも見つけようとしている



がっこう こ じぶん ともだち よ み
**保護者⑤ 学校は、子どもたちが自分や友達の良さを見つけれらる
 ように指導・支援している**



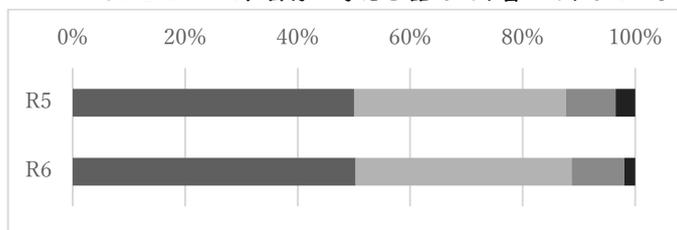
■ Iの柱では、「児童理解」と「認め合う心の育成」を重点としています。まずは、すべての項目の中で、子どもたちにとって「学校が楽しい」ということは、最も大切であると考えます。今年度も9割以上の子どもたちが「楽しい」と肯定的な評価をし、保護者からも学校の取組を高く評価していただきました。これからもすべての子どもたちが「楽しい」と実感できるように、教育活動のさらなる充実を図ってまいります。

「ルールを守る」は、今年度の重点の一つとして取組んできました。教職員は子どもたちの変容を感じていますが、子どもたちの肯定的な評価が9割を超え、数値としても確認することができました。このことが定着するよう指導・支援してまいります。一方、「あいさつ」については、肯定的な評価が4ポイント程度下がりました。「あいさつ」は、人との関わりにおいて大切な要素です。保護者や地域の方と連携し、どのような取組ができるのか検討していきたいと思っております。また、自己肯定感の高まりや認め合い・高め合いにつながる「自分や友だちのよさの気づき」についても、さらに高まるような手立てを探ってまいります。

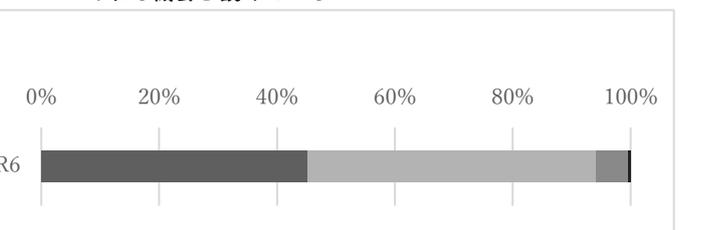
「たてわり班活動をはじめとした異学年交流や地域の方とのふれあい」は本校の特色の一つであり、子ども・保護者ともに高い評価となりました。この活動が無理なく継続できるよう実施時期の調整等を行ってまいります。

II 学びを楽しむ学校

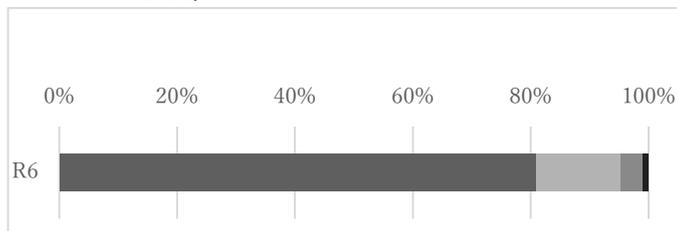
児童⑥ 授業中、先生や友達の話をよく聞いている。聞いたことについて、自分の考えを話したり書いたりしている



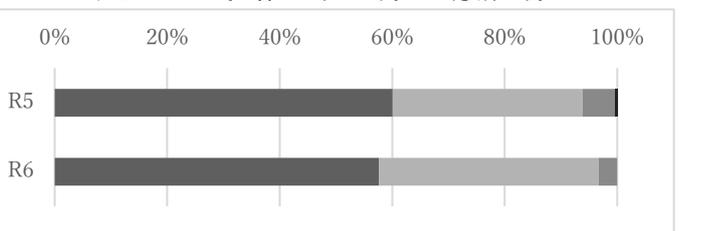
保護者⑥ 学校は、話し合い活動を取り入れるなど、いろいろな考えにふれる機会を設けている



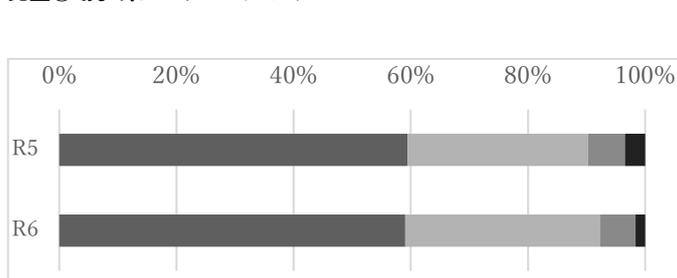
児童⑦ 校外学習や実験・観察など、いろいろな体験をすることは楽しい



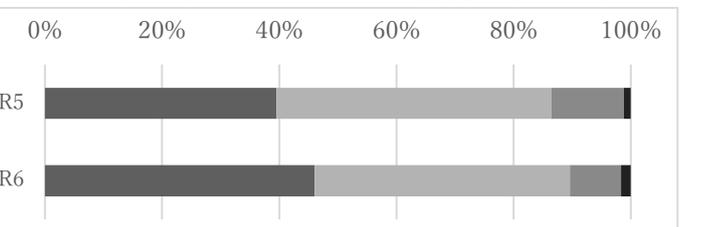
保護者⑦ 学校は、体験活動や校外学習等を計画的に実施し、子どもたちの学習に対する関心・意欲を高めている



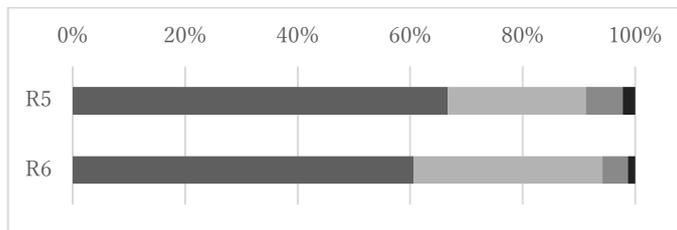
児童⑧ 授業はわかりやすい



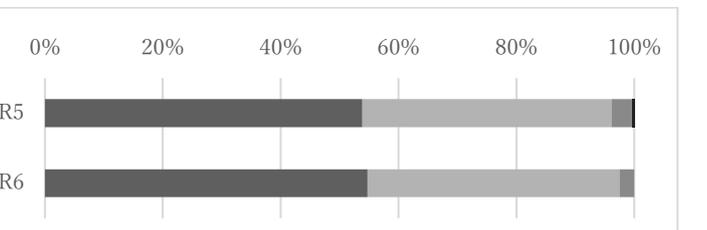
保護者⑧ 学校は、授業の準備に力を入れ、ICTの活用や多様な指導体制を取り入れて、わかりやすい授業を進めている



児童⑨ 当番・係活動、クラブ・委員会活動、たてわり活動に進んで取り組んでいる



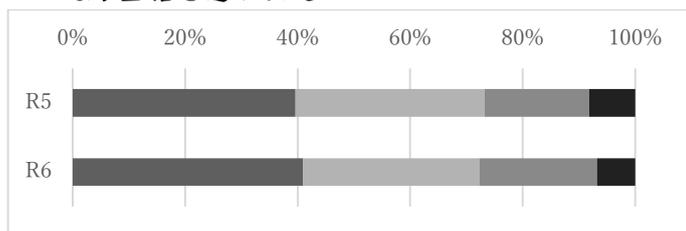
保護者⑨ 学校は、係活動・クラブ活動・委員会活動等を通して、自主的・主体的な力が育つように指導・支援している



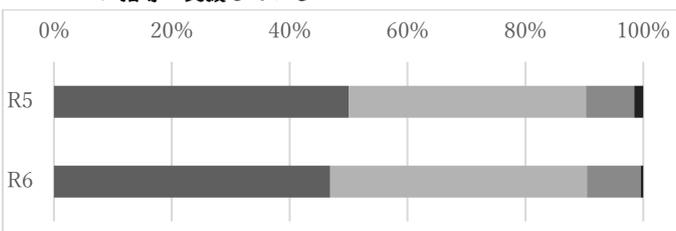
■Ⅱの柱では、「子どもの主体性や求められる資質能力の育成」と「学習内容の定着」を重点としています。子どもたちにとって、授業が「楽しい」「わかる」は、たいへん重要であり、意見や感想を交流する中で学びが深まり、さらに「楽しい」「わかる」につながると考えています。アンケートの結果から実験や観察等の体験、本物にふれる機会は、関心・意欲を高めるために有効であることが確認できました。また、関連する「わかる」については、子ども・保護者とも肯定的な評価が着実に増えています。引き続き、授業を充実させてまいります。一方、「話し合い」に関する項目は、肯定的な評価は高いものの、内訳をみると検討が必要であるととらえています。校内研究でも「話し合いを通して学びを深める」ことをテーマとした取組を始めていて、経過を注視してまいります。学級活動（児童活動）については、子どもたちは主体的に取組んでいることがわかります。これからも学校生活が豊かになるよう指導・支援してまいります。

Ⅲ 健康で安全・安心な学校

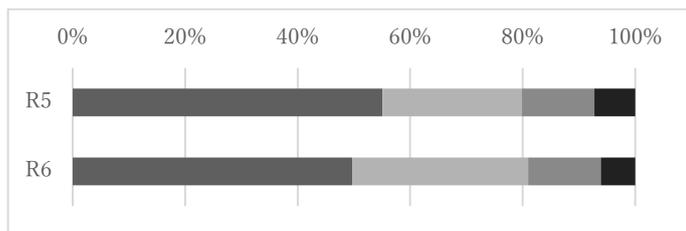
児童⑩「早ね、早起き、朝ごはん」を守って、規則正しい生活を送っている



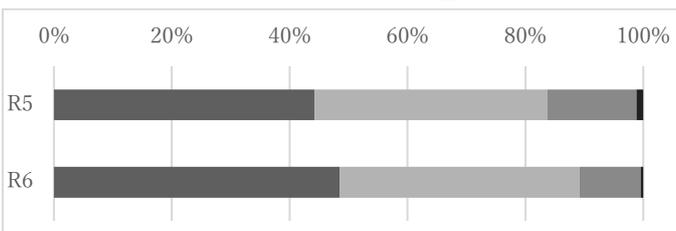
保護者⑩学校は、保護者と連携し、子どもたちが規則正しい生活を送れるように指導・支援している



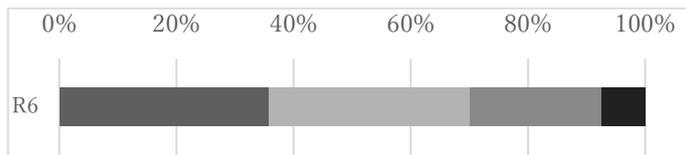
児童⑪すすんで運動したり、外で遊んだりしている



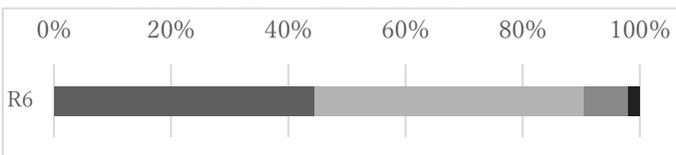
保護者⑪学校は、子どもたちが進んで運動したり、外で遊んだりできるような環境整備に取り組んでいる



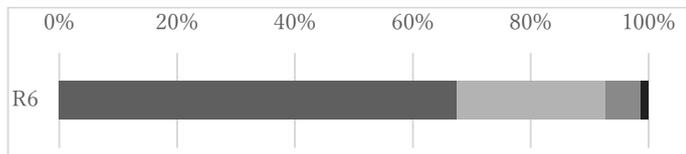
児童⑫何か困ったことがあったら、先生に相談している



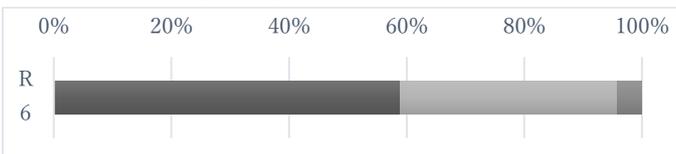
保護者⑫学校は、子どもたちの話をよく聞き、様々な事案に対し、迅速な対応に努めている



児童⑬けがや事故にあわないように、安全に生活を送っている



保護者⑬学校は、地域等と連携して安全見守り活動に取り組んだり、避難訓練なども計画的に行ったりしている



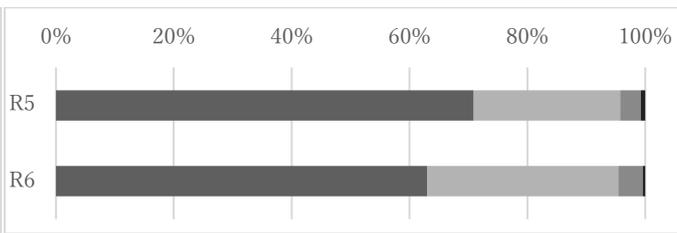
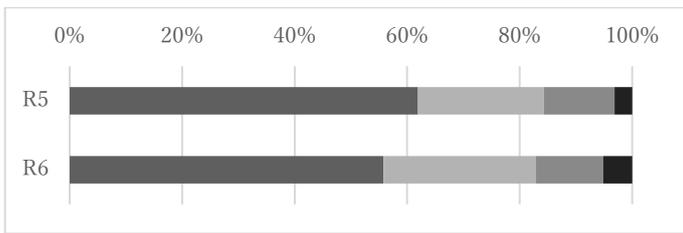
■Ⅲの柱は、「健康や安全・安心に対する意識の向上」と「事件・事故への対応」を重点としています。全体的に子どもたちの評価が低くなっています。特に、「規則正しい生活」については、昨年度と状況が変わっていないことがわかりました。引き続き、保護者との連携をすすめるとともに、学校で取組めることを検討してまいります。「運動・外遊び」についても、保護者からは「朝遊び」のルール変更や校庭開放の時間確保等、学校の取組を評価いただきましたが、子どもたちは昨年度と同程度の結果でした。遊び方は多様化していますが、子どもたちが企画・運営する委員会活動等も含めて「体を動かしたくなる場」を考えていきたいと思えます。設問12・13は、昨年度の考察から、「相談」と「安全」をわけたものです。「安全」については、子ども・保護者ともに高い評価になりましたが、「相談」については、子どもたちの肯定的な評価は7割程度となりました。校内に相談できる大人がいることは、安心して学校生活を送るためには大切なこ

とです。子どもたちの状況を把握する手立ては定期的に行っていますが、子どもたちの設問の受取り方の把握を含め、教職員で共通理解し、対応を考えてまいります。

IV ともに歩み、つながりあう学校

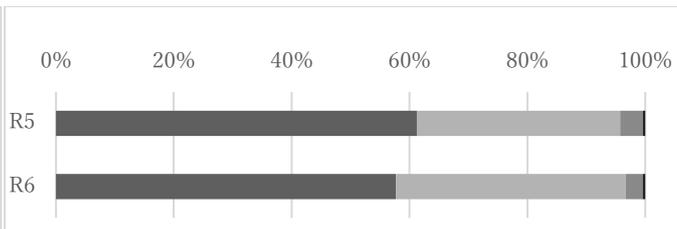
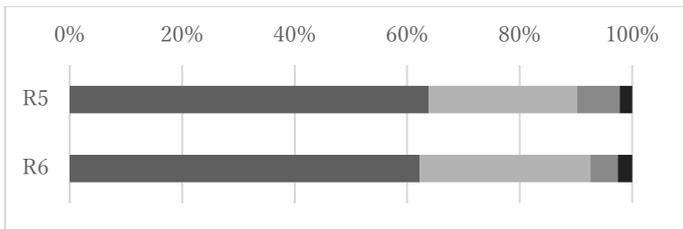
児童⑭ 学校からの手紙(プリント)を、きちんと家の人に渡している

保護者⑭ 学校は、お便り・配信メール・HP等を通して、必要な情報を伝えている



児童⑮ 学校や地域の人たち、おうちの人が、あたたかく見守っていると感じる

保護者⑮ 学校は、保護者や地域との関わり合いを大切にし、PTA・教育後援会・教育ネットワークと連携しながら教育活動を進めている



■IVの柱は、「学校・家庭・地域との連携」に関するものです。本校は、行事や日々の学習において、保護者や地域のサポートをたくさんいただいています。今年度も9割を超える子どもたちが、「身近な人から温かく見守られている」と感じていて、保護者も肯定的な評価がさらに増えています。これからも、さまざまな方との「ふれあい」「かかわり」の場を教育活動に取り入れ、地域の学校として歩んでいきたいと考えています。学校からの「情報発信」については、保護者から昨年度と同様、高い評価をいただきました。引き続き、「学校だより」や「ミマモルメ」等を活用して、定期的に、必要に応じてタイムリーに情報を届けられるよう努めてまいります。

■学校関係者評価

- ・地域としては、「あいさつ」の項目が気になった。もう少しあいさつができる子どもたちが増えるとうれしい。あいさつが活発な地域は犯罪が少ない傾向があるという話もある。防犯の観点からも地域でのあいさつを増やしたい。
- ・一般的に、学年が上がると他者を意識し、自己表現しない傾向がみられるようである。成功体験を積み重ねるなどして自己肯定感を高め、さらにいきいきと学校生活を送れるよう努めてほしい。
- ・年々、質問の内容が精査されている。「学校が知りたいこと」を丁寧に見取ろうとする姿勢が伝わってきた。また、「規則正しい生活」の項目など、子どもと保護者の認識の相違なども見えてきて、アンケートに意義を感じる。
- ・これからも、よいところだけでなく、みんなで改善しなければならないことについても伝えてほしい。

■来年度に向けて

すべての子どもたちが、「楽しい」と実感できるような教育活動を展開するためには、さまざまな項目の内容が充実することが必要不可欠であると考えます。今回のアンケート結果から、「あいさつ」や「相談」など、学校として改善しなくてはならないことも明らかになってきました。また、自由記述欄では、たくさんの方に学校の取組を肯定的に評価していただくとともに、「熱中症対応」や「授業公開」をはじめ、「交換授業」「ペーパーレス化」「個々の事例」等についても、要望やアイデアをいただきました。ありがとうございました。検討させていただきます。

また、「登下校や放課後の交通安全」など、保護者や地域の方と一しょに取組むとより効果的であると思われる内容については、さまざまな場で話し合っていきたいとおもいます。

学校の教育活動の成果は、子どもの姿、子どもの声にあらわれると考えております。子どもたちの学校生活がより充実するように、今回いただいた声を受け止め、教育活動の見直し・改善に取組んでまいります。これからも本校の教育活動にご理解ご協力をよろしくお願いいたします。